

真のLOM改革グループ基本方針

担当副理事長 真方 誠也

半世紀に渡り、この圏域の発展を願い運動を続けてきた都城青年会議所は、若き指導者の学び舎としても、数多くの優れた人材を輩出し、地域社会の発展に大きく寄与してきました。そして、その歴史には、礼儀と規律、規範を重んじるLOMならではの伝統があり、そこには、厳しいながらも人としての振る舞い方が自然と身に付く組織風土が在りました。しかし、近年、会員の目的意識や活動意義に少しずつズレが生じているように感じます。今後も志ある若者達の学び舎として在り続ける為には、伝統を大切にしながら、時代に即した組織改革を推し進め、会員自身が誇りと魅力をより一層感じる事の出来る組織構築に努めていかなければなりません。

会員の半数が入会歴の浅い、若い会員構成となった今、どれほどの会員がJCについて語る事が出来るでしょうか。組織について語るには、その組織に携わった先人達の実績、苦労や想いを、歴史から学ぶ必要があります。愛社精神や愛郷心、愛国心も同じです。その歴史を紐解くことによって、はじめて組織に対する【誇り】を感じる事が出来るのです。一方で、誇りある組織だけでは、組織は活性化しません。誇りある組織と同時に、【魅力】ある組織でなければ、新しい仲間を増やす事も出来ません。数年後には、会員数が50名を切る可能性もある中で、今一度、会員拡大の意義を考え、会員をはじめ、周囲の方々が納得して頂ける、時代のNEEDSに即した魅力ある組織を全員で構築していかなければなりません。「変えてはならないもの」(【誇り】の醸成)と、「変えるべきもの」(【魅力】の創造)、を明確にし、LOM改革を推し進めて参ります。また、本年度は宮崎ブロック協議会2015年度会長を輩出致します。宮崎ブロック協議会と県内各地会員会議所との連携は、LOMとしての市民意識変革運動の効果を拡充する事にも繋がり、結果、会員の見識、見聞を広げ、JAYCEEとしての自覚と成長を促す最良の機会となります。会長輩出LOMとして、会長支援はもちろんの事、協議会の運営基盤を磐石なものにするべく、サポート体制の充実化を図って参ります。

人は人でしか磨かれませんが、魅力ある組織が、魅力ある人を創造し、魅力ある人が、新たな優れた人材を育みます。会員一人ひとりのJAYCEEとしての帰属意識を高める事で、真に誇りと魅力のある都城青年会議所が創造されると確信致します。